

健やかな体の育成と生涯スポーツの推進、青少年の健全な育成

○体力・運動能力・運動意欲向上の取組

・体育授業の充実

教員に対する研修会を開催し資質向上に努めるとともに、地域のスポーツクラブ等の人材を活用するなど、地域と連携した指導体制を構築する。

・幼児期における運動遊びの普及

親子運動遊び教室等を開催し、神経系の発達が著しい幼児期の運動遊びの重要性について、普及啓発を図る。

・小学校における業前・業間体育の充実

小学校における業前・業間体育の時間を活用し、1校1運動を推進することで、児童に運動の習慣化を促し、運動時間の増加を図る。また、「外遊び、みんなでチャレンジ」を開設し、各学校の取組を支援する。

・運動部活動の充実

中学校体育連盟・高等学校体育連盟と連携し、適切な運動部活動運営について各学校の運動部顧問の資質向上に努め、運動部活動の活性化を図る。

○健康教育の充実

・保健教育の充実

児童生徒の健康課題の解決を図るため、関係機関等との連携強化を促進するとともに、体育・保健体育の教科学習の充実と学校教育活動全体を通じた体系的な保健教育の充実を図る。

・学校保健活動の取組の推進

食物アレルギー等、健康面に特別な配慮を要する児童生徒への対応については、医師の診断に基づく学校生活管理指導表を活用するとともに、危機発生時の対応マニュアルを整備するなど、全ての教職員が学校保健に関心をもち、校内組織が十分に機能する学校保健活動の取組を推進する。

学校保健に関する各種研修会・講習会の研修内容を充実させ、教職員の資質や指導力の向上を図るとともに、地域の実情を踏まえた学校保健の取組を推進するために、関係機関との連携の充実を図る。

○食育の推進

食に関する指導の全体計画や年間計画に基づき、学校教育活動全体を通して食育を推進する。また、栄養教諭が中核となって教職員と連携し、学校給食を「生きた教材」として活用しながら食育を推進するとともに、食に関する指導を充実させるため、学校給食において地場産物の積極的な活用を図る。

教職員の資質・能力の向上

○教員養成・採用の充実

・高大連携による教員養成プログラムの構築

県内各大学と連携して、教員を目指す県内高等学校の生徒を対象にした教職プログラムを構築する。

○教職員研修の充実

・若手教職員育成研修プログラムの構築

採用後、資質・能力・経験に応じて、体系的に学び続けることのできる研修プログラムを構築する。

・大学院派遣研修の充実

中堅教員を、確かな指導力と実践力、高い専門性を身に付けた研修リーダーとして育成するため、大学院派遣研修の充実を目指す。

・ICTを活用した研修の充実

教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力、児童生徒のICT活用を指導する能力の向上に向けた研修を充実させる。

・教職員研修におけるe-ラーニングシステム導入に向けての検討

集合研修だけではなく、目的や受講時期等に応じて効果的な方法を用いて行うことができる研修プログラムを構築する。

○小・中学校合同の授業研究の推進（再掲）

○管理職の能力の向上

管理職の学校組織全体を効果的に運営することができるマネジメント力や様々な教育課題に対応する能力を向上させるため、管理職研修を充実させる。また、県立教育研究所の学校教育アドバイザー一係に校長経験者を配置し、新任校長の支援を行う。

安心・安全で質が高い教育環境の整備

○県立学校施設の耐震化の推進

県立学校において、耐震補強工事、屋内運動場等の非構造部材の耐震対策工事を実施する。

○県立高等学校への空調設備の設置

生徒の学習効率の向上及び健康保持のため、県立高等学校の普通教室に空調設備の設置を推進する。

○県立学校の情報化の推進

ICT利活用による利便性の向上と、県立学校における教科指導への情報通信技術の有効活用を推進する。

○県立学校の教育用・校務用コンピュータの整備

県立学校において、主に生徒が使用する教育用コンピュータと教員が使用する校務用コンピュータについて、ハードウェアとソフトウェアの両面から整備を計画的に行う。また、各県立学校間でのネットワークの整備も進める。

○防災教育の推進

学校安全教室やより実践的な避難訓練等の実施を通して、児童生徒に危険予測・危機回避能力を身に付けさせるための「防災教育」の充実を図る。

「奈良県教育振興大綱」は奈良県地域振興部教育振興課ホームページに掲載しています。

<http://www.pref.nara.jp/43421.htm>